

# 第1回 千代川水害タイムライン検討会 グループワーキングについて

- ・趣旨、タイムスケジュール
- ・グループワークの構成
- ・防災行動項目の抽出（事前作業）
- ・【グループワーキング】重点行動項目の抽出と整理
- ・発表と意見交換
- ・事務連絡、次回（第2回検討会）の予定

# 第1回 千代川水害タイムライン検討会

## 趣旨、タイムスケジュール

- グループワーキングの達成目標：**機関・部署ごとに自らが解決すべき課題を考える**

	内容	所要時間（分）	時刻
①	趣旨説明/グループワーキングの進め方	10	10:20~10:30
②	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 氾濫ブロック毎の浸水状況の把握</li><li>■ 防災行動項目の抽出（事前作業）</li><li>■ 重点行動項目の抽出と整理</li></ul>	60	10:30~11:30
③	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 発表と意見交換</li></ul>	15	11:30~11:45

# グループワークの構成

## ■ 防災対応の目標が重なる機関・部署でグループ分け

テーブル No.	グループ名	対象機関	実施目標
①	防災情報 →②③④	気象台、河川管理者 県土木部局 道路管理者（情報）	気象情報や河川・ダム情報等を発信 所管施設の運用・早期復旧、浸水範囲抑制
②	避難対応	自治体危機管理部局、 福祉部局	避難所開設、避難情報発令、要配慮者への対応等
	広報・報道	報道事業者	被害情報や対応状況、避難情報の住民へ 広報・報道
③	大規模避難・救助	県危機管理部局、 警察、消防、自衛隊	大規模避難の指揮や避難誘導、救助
④	社会基盤 （交通・運輸）	交通事業者、 道路管理者（復旧）	帰宅困難者の抑制や所管施設の早期復旧
	社会基盤 （ライフライン ・通信インフラ）	自治体上下水道部局 ライフライン事業者 電気通信事業者	機能停止の予防、早期復旧

## **防災行動項目の抽出（事前作業）**

# 行動項目の選定・追加 [10分]

■ 水害リスクを把握した上で、自機関で最も重点的に取り組むべき行動項目と課題を抽出します。

- ① 災害時に想定される行動項目を確認します。資料4【参考】「**タイムラインレベル\*ごとの各機関の主な行動項目（チェックシート）**」の**実施する項目にチェック**を入れます。
- ② 不足する項目がある場合には**余白に追加で記入**してください。

\*タイムラインレベルについては次頁で説明

第1回 千代川水害タイムライン検討会

### タイムラインレベルごとの各機関の主な行動項目 (チェックシート)

この資料には、タイムラインレベル（気象状況や河川の水位上昇、氾濫状況）に応じた各機関の主な行動項目が記載されています。各機関で実施する行動については項目欄の□にチェックを入れてください。

このリストは全ての行動項目が網羅されているわけではありません。そのため、追加すべき項目についてはリスト上に記入してください。

タイムラインレベルを想定した想定災害シナリオは平成10年10月台風10号の水位・雨量状況（例：行違瀬測所）を表示しています。項目を選定・追加する際に各レベルの状況を確認ください。

\*観測所毎の水位・雨量状況は「資料3-2 第1回タイムライン検討会説明資料「浸水状況」」をご確認ください。

この資料は検討会終了後に回収します。欄外・備考欄を必ず記入してください。

機関	部署
気象台	
河川管理者	
道路管理者	
自治体	
県	

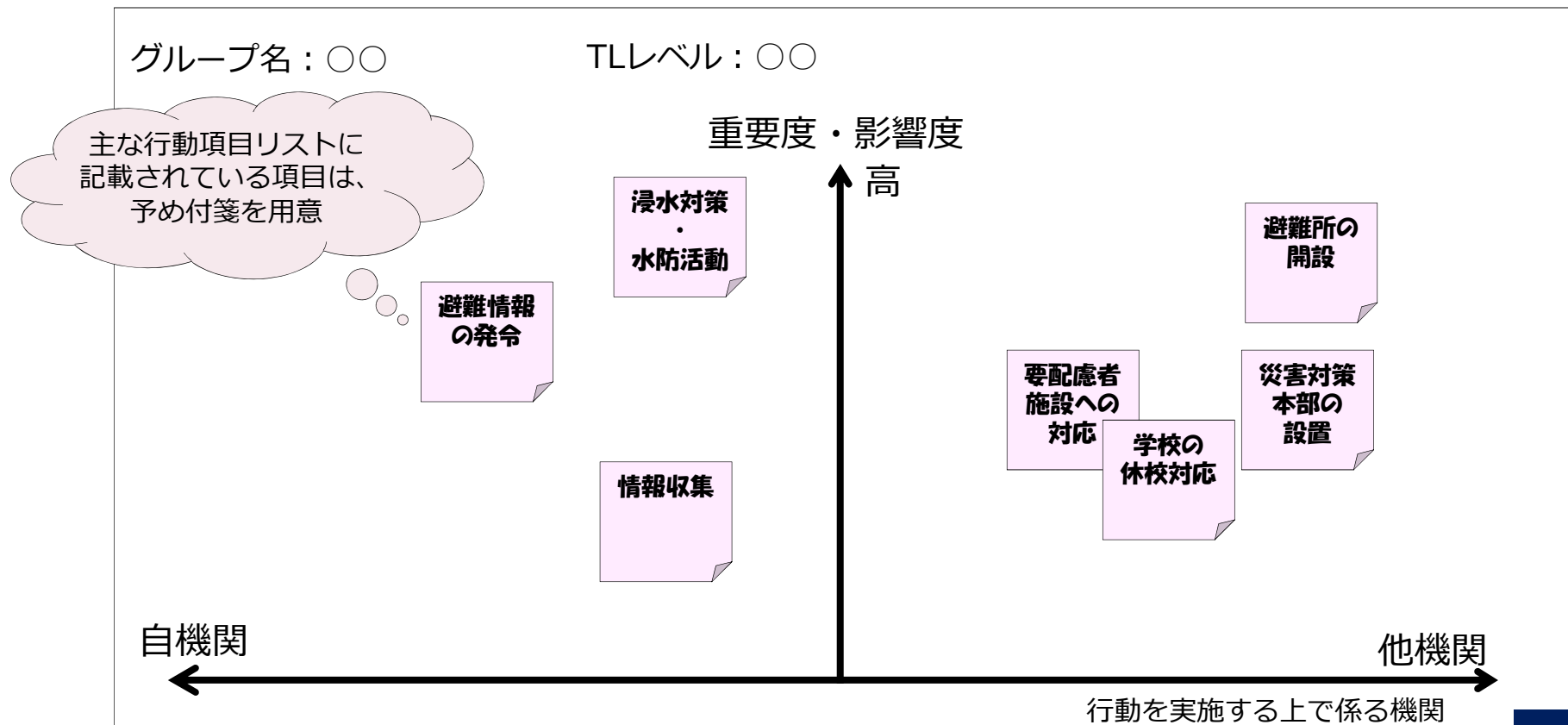
タイムラインレベルごとの各機関の主な行動項目 (チェックシート) の詳細内容（機内調整・対応、他機関との連携）は右側の表に記載されています。

参加機関	情報伝達・収集	機内調整・対応	他機関との連携
気象台	□タイムラインの運用 □情報の収集	□体制の構築 □管理施設対応 □点検・巡視 □指定河川決水予報 □水防警報 □河川施設の対応 □災害対策用資機材の確認	
河川管理者	☑タイムラインの運用 ☑情報の収集	☑体制の構築 □管理施設 ☑点検・巡視 ☑指定河川決水予報 ☑水防警報 □河川施設の対応 □災害対策用資機材の確認	
道路管理者	□タイムラインの運用 □情報の収集	□体制の構築 □管理施設対応 □点検・巡視 □災害対策用資機材の確認	
自治体	□タイムラインの運用 □情報の収集	□体制の構築 □管理施設対応 □点検・巡視 □水防警報 □浸水対策・水防活動 □災害対策用資機材の確認	□要配慮者利用施設支援 □医療施設支援 □学校支援 □住民避難 □施設利用者支援 □報道対応
県	□タイムラインの運用 □情報の収集	□体制の構築 □管理施設対応 □点検・巡視 □水防警報 □浸水対策 水防活動	□要配慮者利用施設支援 □医療施設支援 □学校支援 □住民避難 □施設利用者支援 □報道対応

## **重点行動項目の抽出と整理**

# グループで水害発生時の重点行動項目の抽出と整理 [35分]

- チェックした行動項目のうち、各機関、各部署の「タイムラインレベルごとの各機関の主な行動項目」を中心に、各グループで**重要度・影響度**と**多機関・自機関**の2軸で分析します。（付箋で貼付）
- 縦軸[重要度・影響度]は**“人的被害ゼロ”**、**“社会経済被害の最小化”**、**“防災意識の向上”**の視点で、横軸[他機関・自機関]は、**行動を実施する上で係る機関が他機関に及ぶか**の視点で抽出します。



# 発表と意見交換



## 発表と意見交換 [15分]

- ワークシートを使って、グループごとに発表  
1グループで4～5分程度
- 発表のポイント
  - グループで共通していた重点行動項目や懸念事項（課題）
  - 他グループと連携して解決が必要な懸念事項

# 事務連絡、次回（第2回検討会）の予定

## 事務連絡

---

- 「タイムラインレベルごとの各機関の主な行動項目」（事前配布）、  
「時系列浸水状況」は回収します。
  - 事務局でスキャンした上で、スキャンデータの共有を致します。所内共有資料等としてご活用ください。

## 次回（第2回検討会）の予定

---

- 開催日時：11月27日 14時～17時
- 内容：重点行動の具体化・細分化
  - 【WG】各参加機関で具体的な防災行動の抽出を行う。また防災行動項目に対する行動手段の整理、他機関との連携の確認を行う。  
→各関係機関ごとに「いつ」、「何を」すべきかを把握する。
  - タイムラインレベルごとに他機関と共有すべき行動を抽出し、機関グループごとに発表する。